

第7回富山公開シンポジウム 二十世紀のジャポニスム — その波及と変容 —

ジャポニスムは、その顕著な表れとされる仏英絵画などでは二十世紀初頭までにおおむね下火になったが、服飾・文学・音楽など絵画以外のジャンルでは第二次世界大戦近くまで豊かな成果を生み続けた。また北・南・東欧などの地域では、西欧よりも遅れてブームになった。このようにジャポニスムは、地域的には中心としての西欧から他の地域に波及し、分野としても変容したと考えられる。本シンポジウムでは、ジャポニスムの周縁の問題として捉えられてきた二十世紀の動きに焦点を当て、同時にジャポニスムの定義をも再検討したい。

日時 2017年 11月25日(土) 13時30分～17時 受付13時
11月26日(日) 10時～17時

会場 帝京大学霞ヶ関キャンパス
(平河町森タワー9階) [入場無料]

主催 ジャポニスム学会
共催 公益財団法人 荏原 富山記念文化財団
協力 帝京大学

使用言語 日本語、英語
定員 見学会 30名 シンポジウム 各日82名